

宇野中学校・玉中学校・日比中学校 再編準備委員会

第3回通学安全部会 会議録（要点筆記）

■ 日 時 令和7年9月25日（木）19：00～20：00

■ 場 所 玉野市役所大会議室

■ 出席者 ○部会委員

高嶋秀明部会長 角田智広副部会長 干場萌副部会長

遠藤雄也委員 近藤真弓委員 内尾玲委員 守屋侑貴委員

古村幸恵委員 岡本園美委員 新仁司委員 星島孝一朗委員

（欠席者：物部明子委員）

○事務局

学校再編推進主査 藤田直也

■ 傍聴者 一般 1人 市議会議員 2人

1 開会

2 議事（要綱第8条に基づき、高嶋部会長が議事進行を行う。）

（1）バス通学範囲について

部会長： 事務局から資料に沿って説明をお願いする。

事務局： 【資料1】により説明

▶スクールバスの乗降場所について

これまでの協議を踏まえ、図の範囲は3つのルートを使用するスクールバスでの通学となった。

乗降場所とそこを使用する範囲については、令和9年度生徒数とスクールバスの乗車数を基に考えている。

図の黄色の範囲であるレイク玉原は「レイク玉原いこい荘団地前」バス停での乗降、レイク玉原の隣にある薄い赤色の範囲である玉原ニュータウンは「天王谷川公園前」バス停での乗降、緑の範囲である玉原1丁目と玉原2丁目の北側は「玉原」バス停での乗降、オレンジ色の範囲である玉原2丁目の南側は「第二野関」バス停での乗降、水色の範囲である和田7丁目は「和田7丁目」バス停での乗降となる。

部会長： 乗降場所について、意見はあるか。

委 員： 「和田7丁目」バス停だが、降車場所が路肩で狭いため、危険である。

委 員： 狹いこともそうだが、横断歩道もない。ここではなく日比中の敷地を使用することはできないか。

委 員： 他の保護者と話をしていた際、和田7丁目は日比中で乗降するだろうと話をしていた。地元でも、ここは日比中を使うものと思っている。

事務局： 日比中とすることは可能だが、いずれ小学校として活用する計画であるた

め、そうなった際は工事や小学生の乗降により、敷地内で乗降場所が変わる可能性がある。

委 員： 工事や小学生が利用するとなった際、安全確保ができるようお願いしたい。

委 員： 「レイク玉原団地いこい荘前」バス停は遠いのではないか。レイク玉原団地内に乘ることや、階段を上れば、「天王谷川公園前」バス停にも行けるがどうか。

事務局： 団地内に入るとなるとバスの運行に支障がある。「天王谷川公園前」バス停にすることも可能だが、下校時はレイク玉原団地に近い位置にバス停があるため、そちらの方が近い。

委 員： 「天王谷川公園前」バス停だが、公園側に渡る横断歩道がないため、危険ではないか。

事務局： 地下道があるため、そちらを使用してもらえる。

委 員： 地下道を使用したことがないが、そのルートは安全なのか。

事務局： 横断歩道のない道路を横断するよりは安全だと思うが、改めて問題がないか確認する。

部会長： それでは乗降場所について、「和田7丁目」バス停は日比中で乗降することにする。また、「天王谷川公園前」バス停は地下道の安全確認を行ってもらい、次回、事務局から報告してもらうことでよいか。

(一同異議なし)

(2) 通学における危険箇所の確認について

部会長： 事務局から資料に沿って説明をお願いする。

事務局： 【資料2】により説明

▶通学路における危険箇所の確認について

これまでに説明した8項目に前回部会で出た2項目を追加している。

追加した2項目について、現地を直接確認したうえでの詳細を資料に沿って説明する。

和田橋バス停付近だが、複数の道路が交差しており、交通量が多いため、危険であるとのことであった。

確認したところ、確かに複数の道路が交差していることが確認できた。そのうえで、自転車が走行できる歩道や横断歩道が整備されていた。また、道路管理者である土木課に確認したところ、側溝に蓋をすることで道路幅を確保するなど、可能な限り安全確保をしていることが確認できたため、要望を行わない方向としている。

次に和田5丁目周辺だが、明かりが少なく、暗いとのことであったが、確認したところ、一部暗い所はあったが、他の場所と比較して、ここだけが極端に暗いということではなく、道路が交差する箇所に明かりがないということもなかったため、こちらも要望は行わない方向としている。

部会長： 危険箇所について、意見はあるか。

委 員： 和田橋バス停付近だが、ここは明かりがなく、暗いということはないのか。

委 員： 明かりがあるため、暗くはない。夜でも暗いと思ったことはない。

部会長： それでは危険箇所について、この内容で意義ないか。

(一同異議なし)

3 閉会